



Palliative Care Team

発行元 ◆加古川中央市民病院 緩和ケアチーム 連絡先 ◆緩和ケアセンター 内線：3399

2022年度 心不全患者IPOS結果

2022年度7月より、心不全入院患者さんへ、症状やつらさを和らげるために、IPOSを用いてサポートすることになりました。

2022年7月～12月までの、心不全入院患者数 = **276名**、IPOS確認患者数 = **202名**と、ほとんどの入院患者さんへ確認することができています。中には症状が強く、本人から確認できなかつたり、せん妄や認知症のある方への問診が困難なこともあります。

IPOS結果は、質問内容に対し0～4で答え、数字が大きくなるに従い、症状・心理的な思いが強いと考えます。

心不全患者さんの身体的・心理的特徴と介入方法について、下記にお示ししたいと思います。

【 IPOS Q2身体症状別 】



【身体症状】

- 1位：息切れ
- 2位：力や元気が出ない（だるさ）
- 3位：動きにくさ（息切れに伴う）

心不全症状として特異的であり、治療が開始され治療が奏功すると、緩和されます。

息が苦しいという症状は、「死ぬかもしれない」という不安にもつながります。

治療の他に、患者さんの側に寄り添い、タッチングも効果的です。

【心理面】

- 1位：家族や友人は、あなたのことで不安や心配を感じていた様子でしたか？
- 2位：病気や治療のことで不安や心配を感じていましたか？

病気のことがわからずに不安を感じている方は少なくありません。

医師の説明後、どの程度理解されているのか看護師が確認し、簡単な言葉で説明することで、不安が緩和されることもあります。

患者さんの気持ちを確認し、**否定せず**、受け入れることから始める事がポイントです。

また、IPOSをきっかけに、自分の病気と向き合う機会となり、意思決定支援の一歩となると考えます。

【 IPOS Q3～9心理面別 】

